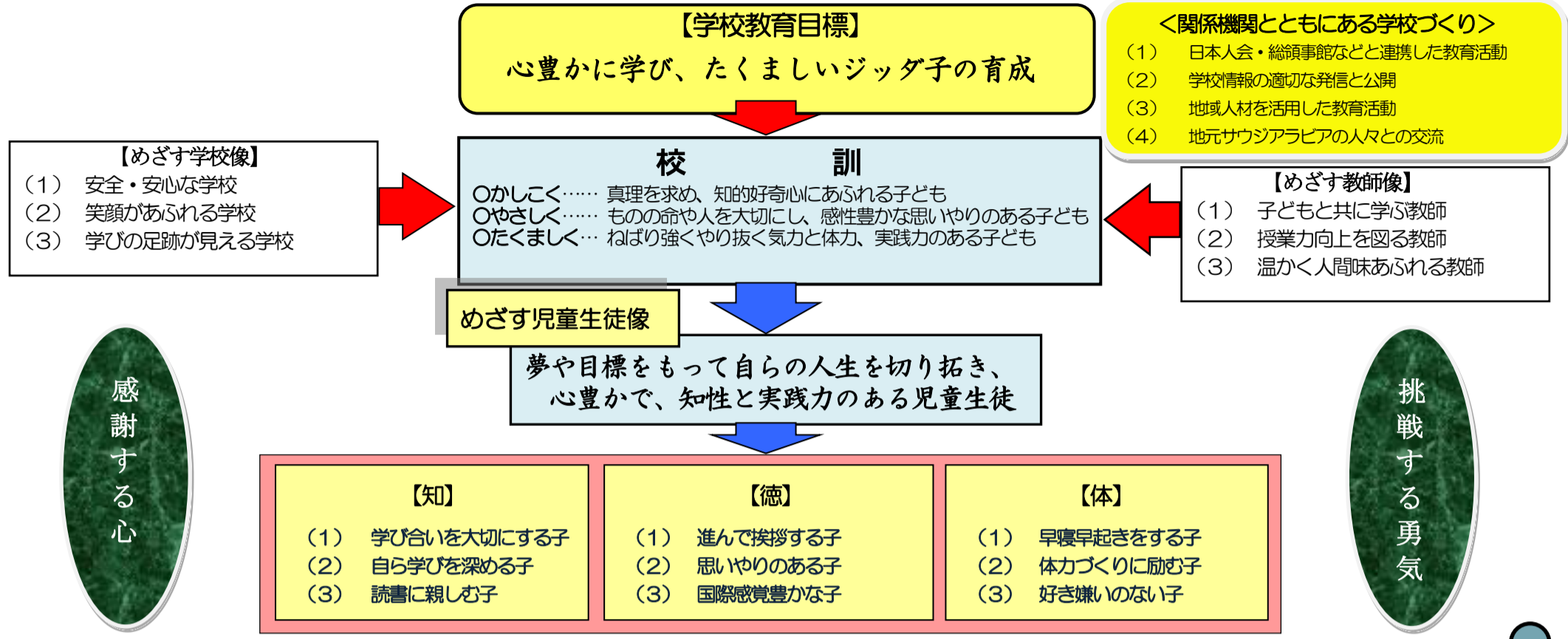


2020年度 ジッダ日本人学校グランドデザイン



【重点目標の3視点】

1 分かる授業・力がつく授業の創造
○主体的な学習を促す指導方法の工夫・改善
○学習形態や活動の創意工夫・ICT機器の有効活用
☆学ぶ意欲の醸成と学び方の習得を図り、「**学びの達人**」を目指す児童生徒の育成

2 気づき・考え・判断し・行動できる主体的実践力の育成
☆充実した生き方を求め、主体的に行動できる「**一歩進んだ私**」を目指す児童生徒の育成

3 祖国愛・地域愛を育み、自信と誇りの醸成
○サウジアラビアの自然や人々の営み、産業・歴史・文化などの学びの充実
☆「ひと・こと」にふれ、感じ、考え、関わろうとする「**国際人として育つ**」児童生徒の育成

重点1 学び合う力の育成

- ① 自らの考えを基に友と関わり合いながら学ぶ授業実践
- ② 複式授業の特性を活かした学び合い学習の実践

☆さらなる充実のために・・・

- 生徒の力を伸ばすための授業づくりの視点
 - ・「ねらい・めりはり・見とどけ」を踏まえた授業
 - 学習問題、学習課題の明確な提示
 - 板書、発問、場面づくりの工夫
 - ・「つける力」を明確にした授業
 - ・「合同学習」の利点を活かした授業
- 「+1」の学習による進路保証を指向した学習指導
 - ・学期や学年を先取りした発展学習・拡充学習の推進

重点3 読書活動の推進

- ① 日本語習得・活用の充実
- ② 図書館ウィークや読書月間等の設定
- ③ 読書ボランティアさんとの交流

重点5 健康な身体づくり、体力づくり

- ① 「早寝・早起き・朝ごはん」の啓発
- ② 水泳を中心とした体力向上
- ③ 個に応じた体力づくりの啓発・奨励
- ④ 家庭との連携による推進

☆さらなる充実のために・・・

- 人権感覚の修得とコラボレーション力の育成
 - ・コミュニケーション能力の伸長と、自らの考えを自分の言葉で表現でき、より良い人間関係が構築できる力の育成
 - ・自己肯定感を高め、他者を思いやる心の育成

重点2 国際理解教育の充実

- ① 「サウジタイム」の充実と現地理解の推進
- ② 英語の教科化への重点対応と小1からの週4h英会話学習及び英検に対応した指導

重点4 ようこそ先輩 <夢の実現と世界での活躍>

- ① 日本人会や専任在員の方との連携
- ② グローバル人材育成におけるキャリア教育の充実

☆さらなる充実のために・・・

- 日本文化や風俗習慣などにふれ、日本人としてのアイデンティティの確立を図る
 - ・邦人講師等による講話や実演等、指導・支援活動の充実
 - ・書道、俳句・短歌、折り紙などの学習や伝統的な遊びの体験促進

確かな学力

- ① 基本的な学習習慣や規律をきちんと習得する姿
- ② 高い学習意欲、発展・拡充学習に積極的に取り組む姿
- ③ 主体的に課題に向き合う姿 (中・高学年、中学部)
- ④ 自分なりの考えをもち、自分の言葉で説明できる姿
- ⑤ 自分なりの考えを深めようと、友の考えに耳を傾け、付け加えたり質問したりする姿
- ⑥ テーマについて積極的に話し合い、理解を深め納得した上で、さらなる疑問をもつ姿
- ⑦ 標準テスト・受験対策模試・NRT検査における高い成就率

自立と共生

- ① 各種行事や特別活動への積極的な参加取り組みと毎月の月例集会での発表(「目標設定・実践・振り返り」)、により、一人ひとりの自覚と責任感の高揚や視野の広がりが確実に図られている。
- ② 「児童生徒会による企画・運営・振り返り」の継続的な取り組みにより、どの子も自信をもって意欲的に活動する姿が増えてきている。
- ③ 読書ボランティアや読書月間などの活動を通して、本と向き合いじっくりと読みふける姿や本を読む習慣の定着が見られるようになってきている。
- ④ 水泳学習の充実、室内の運動量確保、家庭での運動習慣の奨励などにより、健康体力が増進され、全国標準の運動能力・体力に近づきつつある。

国際人として育つ子ども

- ① 半年間に渡る「サウジタイム」の学習活動とそのまとめ・発表を通して、現地理解を一層深めてきている子ども達。
- ② 英語学習の充実と実践的な学びの場の工夫により、自信をもって英語を使ってかかわろうとする姿が多くみられるようになってきた子ども達。
- ③ 人生の大先輩のエピソードやアドバイスを契機に、夢を持ち、スモールステップで達成感や成就感を味わいながら、目標や高みを目指すことの大切さを理解しようとする子ども達。
- ④ 日本の文化や風俗習慣、伝統的な遊びなどにふれ、その価値や良さ・重要性に気づき、日本人としての資質を修得しようとする子ども達。

みんなが「**笑顔**」のジッダ日本人学校！